

【都道府県用中間報告書】

都道府県番号	長野県
都道府県名	20

【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

I. 学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
長野県学力向上推進地域	403校 (10校)	197校 (8校)	600校 (18校)

II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

(フロンティアスクール数)

地区協議会名	小学校	中学校	計
①佐久地区協議会 (小諸市 佐久市 上田市 白田町 佐久町 小海町 川上村 南牧村 南相木村 北相木村 八千穂村 軽井沢町 望月町 御代田町 立科町 北御牧村)	44 (1)	19 (1)	63 (2)
②上田地区協議会 (上田市 丸子町 長門町 東部町 真田町 武石村 和田村 青木村)	32 (1)	15 (1)	47 (2)
③伊那地区協議会 (伊那市 駒ヶ根市 諏訪市 岡谷市 茅野市 下諏訪町 富 士見町 原村 高遠町 辰野町 箕輪町 飯島町 南箕輪村 中川村 長谷村 宮田村)	68 (2)	31 (1)	99 (3)
④飯田地区協議会 (飯田市 松川町 高森町 阿南町 清内路村 阿智村 浪合 村 平谷村 根羽村 下條村 売木村 天龍村 泰阜村 喬 木村 豊丘村 大鹿村 上村 南信濃村)	45 (1)	26 (1)	71 (2)
⑤松本地区協議会 (松本市 塩尻市 大町市 木曾福島町 上松町 南木曾町 檜川村 木祖村 日義村 開田村 三岳村 王滝村 大桑村 山口村 明科町 波田町 四賀村 本城村 坂北村 麻績村 坂井村 生坂村 山形村 朝日村 豊科町 穂高町 奈川村 安曇村 梓川村 三郷村 堀金村 池田町 松川村 八坂村 美麻村 白馬村 小谷村)	90 (2)	55 (2)	145 (4)
⑥長野地区協議会 (長野市 更埴市 須坂市 中野市 飯山市 上山田町 大岡 村 坂城町 戸倉町 小布施町 高山村 山ノ内町 木島平 村 野沢温泉村 信州新町 豊野町 信濃町 牟礼村 三水 村 戸隠村 鬼無里村 小川村 中条村 豊田村 栄村)	124 (3)	51 (2)	175 (5)

Ⅲ. 都道府県教育委員会としての支援策

○地区別協議会に対して

- ・ 県下の6教育事務所の指導のもとに、地区別協議会の会議を開催した。
- ・ 第1回の会議（6月）については、県単独で従来行っていた学習指導改善研修会とタイアップさせて実施した。

○域内の学校（学力向上フロンティアスクールを含む）に対して

- ・ 12月には、県下の6地区で会議を開催し、学力向上フロンティアスクールの実践研究の報告会や講演会等を実施した。
- ・ すべての学校（学力向上フロンティアスクールを含む）に、年1回以上（平均4回程度）指導主事等が訪問し、授業参観や授業研究会を通して、授業改善のあり方等について直接指導した。

Ⅳ. 学力把握のための都道府県としての取組について

- ・ 県下の小中高等学校の中から、約6%の児童生徒を抽出し、生活・学習意識実態調査を実施した。この結果は、冊子にまとめ今年度中に公表する。

Ⅴ. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

- （第1回）6月（本庁・教育事務所・教育センターの指導主事等、学力向上フロンティアスクールの教員）
- （第2回）1月（本庁・教育事務所・教育センターの指導主事等、学力向上フロンティアスクールの教員）

○テーマと主な協議内容（協議の中で提示された成果や課題など）

- （第1回）「テーマ：学力向上フロンティア事業の推進計画について」
 - ・ 主な協議内容
 - ・ 学力向上フロンティア事業の実施内容と推進計画
 - ・ フロンティアスクールの実践研究計画
 - ・ 地区協議会の持ち方の確認と見直し

(第2回)「テーマ：学力向上に向けて各小中学校でどう取り組んだらよいか」

・主な協議内容

- ・フロンティアスクールから学力向上に向けた提案と協議
- ・講演会「確かな学力を向上させるための学校の取組」
東京学芸大学教授 児島邦宏先生
- ・来年度の学力向上フロンティア事業の推進に向けて

VI. 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

(事業評価の実施方法・内容)

1 各フロンティアスクールの取組に関する評価について

- (1) 各学校で定めた評価規準に従って、個々の児童生徒の学習の到達度やその伸長状況を具体的に評価し、評価の結果を数値等で表して指導の成果を明らかにする
- (2) 県教育委員会が抽出調査で実施する「生活・学習意識実態調査」(平成14年度)、「学力実態調査」(平成15年度)を、各フロンティアスクールにおいても実施し、県全体と比較して、学習意欲や学力の定着状況を評価する。

2 評価結果の活用について

- (1) 「『確かな学力の向上』のための指導事例集」において成果をあげた取組を紹介し、各小・中学校での指導の参考に供する。
- (2) 取組の中で見えてきた課題については、「生活・学習意識実態調査の結果から」、「学力実態調査の結果から」にまとめ、指導の重点として各小・中学校に示す。

(進捗状況(成果、課題等))

- 1 (1) 評価規準の作成と評価を生かした指導の改善については、まだ研究が十分とは言えない状況も見られる。今後、指導主事の学校訪問等を通じて継続的に指導していきたい。
- (2) 指導の成果を数値的にとらえるため、各フロンティアスクールにおいては、その実情に応じて、次のような調査を実施した。
 - ・「長野県学力実態調査」(平成12年度実施)の活用 2校
 - ・教育課程実施状況調査(国立教育政策研究所)の活用 2校
 - ・市販の学力テスト等の活用 16校
- 2 (1) 各学力向上フロンティアスクールの実践研究を「確かな学力の向上」のための指導事例集やリーフレットにまとめ、本年度中に県下の各小中学校に配布し、今後の指導の参考になるようにする。
- (2) 「生活・学習意識実態調査」を、県下の小中学生及び高校生対象に、昨年7月に実施した。この結果をまとめて、今年度中に配布し、指導の重点を示す。

【地区別協議会における特色ある取組】

(地区内の学校に対する支援策)

- ・地区内の学校職員を対象に講演会を実施（上田地区協議会、伊那地区協議会、長野地区協議会）
- ・他地区の先進的な取組をしているフロンティアスクールを招いて事例発表会を実施（飯田地区協議会）

(実践研究の成果の普及方策)

- ・会議の会場校となったフロンティアスクールで、すべての教室を授業公開した（長野地区協議会）